

■桂川甫榮(森島中良・森羅万象) 蘭学者, 戯作者, 狂歌師。諸分野で啓蒙・先駆したマルチタレント。

かつらがわほさん
.....1756=

桂川甫三(国訓)の第二子として江戸に生る。兄は桂川甫周(国瑞)。

大式政治批判1759= 3歳: この年, 平賀源内が湯島で物産会を開く。

大岡忠光没・1760= 4歳:

蘭金銀錦絵始1765= 9歳:

.....1769=13歳:

田沼意次老中1772=16歳:

解体新書・1774=18歳: 兄甫周が訳述最後に参加した「解体新書」刊。

黄表紙始・1775=19歳: この年, 兄甫周らが和蘭商館医C・P・ツェンペリーを江戸客館(長崎屋)に訪問。

源内獄中死・1779=23歳: 森島中良の戯号“森羅万象”の初出。師の平賀源内が死去し,

.....1780=24歳: *遺作短篇をあつめ「風来六部集」刊。二世風来山人として滑稽本「金のなる木」刊。以後, 芝全交に師事。

.....1781=25歳: この年, 桂川甫筑(国華)が死去。「真女意題」以降,

天明大飢饉始1782=26歳: 黄表紙「大坂土産大和錦」(勝川春英画)刊。洒落本「蛇蝮青大通」。

蘭学階梯・1783=27歳: 父甫三が病死。竹杖為軽の名で, 両国に宝合会を主催。蜀山人の母の賀筵に出席。

意知刺殺事件1784=28歳: 以後, 黄表紙「万象亭戯作濫觴」・「従夫以来記」。洒落本「二日酔砲駢」・「富ヶ岡大論」。

蝦夷初調査・1785=29歳: この年, 兄甫周職を罷免される。黄表紙「殻鉄砲挑灯具羅」・「ヲヤ道成寺」・「新義経細見蝦夷」。

田沼意次失脚1786=30歳: この年, 兄甫周訳「新製地球万国図説」成る。黄表紙「大笑止耆鐘入」・「景清塔之暎」・「阿房者寐侍」・「七福神伊達船遊」・「もゝんじい」・「仮名手本混曾我」・「四天王荆棘鬼嘶」。洒落本「福神粹語録」刊。

寛政改革始・1787=31歳: *写実批判を爆発させた洒落本「田舎芝居」・蘭学グループ余滴たる「紅毛雑話」に至るまで, 様々なペンネームを用い, 北尾政演ほか一流浮世絵師の画で黄表紙・洒落本を続々刊行。

.....1788=32歳: 田沼意次が死去して,

初の横綱・1789=33歳: 「紅毛雑話」再版。「万国新話」。寛政の改革となり, 奢侈禁止令発布。

異学の禁・1790=34歳: 「琉球談」刊。広告に「日本地名便覧」既刻・「西洋奇譚」「農工力ぐるま」「朝鮮談」「紅毛智恵洋」近刻とある。

混浴禁止・1791=35歳: この年, 山東京伝筆禍。親友林子平と絶交。

フクスマン来日・1792=36歳: この年, 司馬江漢の「銅版地球全国」「輿地略説」刊。「風草紙」刊。松平定信に禄仕。

松平定信引退1793=37歳: この年, 兄甫周が前年送還された光太夫らから聞書「漂民御覧之記」当魯西亞誌を著し, 奥医師に復帰。

ワヅガ正月・1794=38歳: この年, 兄甫周「北槎聞略」成。「親々道成寺」改題再版。*甲比丹ヘイスベルト・ヘンミ江戸参府に際し, 甫周・玄沢らと訪ねる。玄沢の太陽暦元旦の宴“新元会”に出席, 以後毎年続く。

写楽・.....1795=39歳: 黄表紙「相州小田原相談」。

ブートン来航・1796=40歳: 黄表紙「中華手本唐人蔵」。「紅毛雑話」再版。蘭学者を役者に見立てた「近來繁栄蘭学曾我」を創作するか。

昌平饗始・1797=41歳: 松平定信のもとを辞す。

古事記伝・1798=42歳: この年, 兄甫周ら江戸参府の和蘭甲比丹G・ヘンメイ・蘭医レッケを訪う。読本「月下清談」。「蘭学者相撲見立番付」を創作するか。蘭学上重要な小辞典「類聚紅毛語訳」(後「蛮語箋I))を制作するも, 刊行取止め。

蝦夷地直轄始1799=43歳: 書家の北条鉉と房総に遊ぶ。

伊能測量始・1800=44歳: 「桂林漫録」。

本居宣長没・1801=45歳:

膝栗毛始・1802=46歳: この年, 兄甫周ら江戸参府の和蘭甲比丹, W. ワルデナールを訪う。この頃, 品川の遊廓に滞留。

アメリカ船来航始1803=47歳: 式亭三馬「劇場訓蒙図彙」に序を寄せる。

いざワ来航・1804=48歳: 式亭三馬「狂言綺語」に序を寄せる。

間宮海峡発見1809=53歳: 兄甫周(国瑞)が死去したのについて,

.....1810=54歳: 没した。